

「建設専門業の将来戦略～競争・協調の時代に向けて～」

日時：平成15年10月29日(水) 13:30～16:30

場所：東京国際フォーラム ホールC（約1,100名参加）

主催：(社)建設産業専門団体連合会

後援：国土交通省、厚生労働省

協賛：(財)建設業振興基金、(財)建設産業教育センター、勤労者退職金共済機構、(財)建設業福祉共済団、  
東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)、北海道建設業信用保証(株)、(社)日本建設業団体連合会、  
(社)全国建設業協会、(社)日本建設業経営協会、(社)全国中小建設業協会（順不同）

開催趣旨

建設専門業界は、建設ものづくりの中核的担い手であり、根幹である。  
業界をとりまく環境は非常に厳しい状況であるが、建設業の根幹としての誇りを持って、現状の諸問題に真摯に取り組み、改善していく  
きっかけを、本大会は国民及び業界全体に提言するものである。

開催概要

・第一部式典では、山崎義弘大会実行委員長の挨拶の後、来賓を代表して、国土交通省風岡典之事務次官、厚生労働省佐々木知子政務官、日建連平島治会長からご挨拶を頂戴しました。

・第二部基調講演では、元国土交通事務次官の小野邦久氏から、「建設産業の未来に向けてのメッセージ」と題し、建設産業界の現状と課題などに触れ、建専連の会員団体の具体的な取り組みを例に挙げながら「経営力・施工力の強化、多様な建設生産システムの形成、元下関係の適正化、人材の確保・育成が不可欠」との提言をいただきました。

・第三部特別講演では、岡田新一設計事務所の岡田新一代表から、「新しい日本をつくる」をテーマに、新しい国土をつくるために「新首都東京2001-東京DCの誕生」構想を披露いただき、国土再生のランドデザインの重要性について講演をいただきました。

・この後、大澤茂樹大会実行副委員長の大会宣言。橋本誠大会実行副委員長の挨拶により閉会しました。

大会宣言

- 一、建設ものづくりの担い手として、自己革新に努め、市場における競争性、公平性、透明性の確保を図ります。
- 一、建設生産システムにおける発注者、設計者、総合工事業者との一層の協調関係を構築し、効率的で高品質な施工体制を追求します。
- 一、環境等多様な社会ニーズに配慮し、エンドユーザーの期待に応えられる優秀な人材の確保・育成を図ります。